

## 【福島市】

会 議 名	平成31年1月8日年頭記者会見
日 時	平成31年1月8日（火） 午前10時～10時41分
場 所	庁議室

発言者	内 容
広報課長	<p><b>開会</b></p> <p>定刻になりましたので、ただいまから平成31年福島市長年頭記者会見を始めます。それでは最初に市長から年頭のご挨拶を申し上げます。発表事項まで続けてまいりますのでよろしくお願い申し上げます。</p>
市長	<p><b>市長より年頭のご挨拶</b></p> <p>皆さん、明けましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。</p> <p>最初に簡単に年頭の抱負を述べさせていただきたいと思います。市長就任の1年目の昨年は、福島市にとって市制施行111周年、そして念願の中核市移行という記念すべき年でありました。東日本大震災及び原発事故からもうすぐ8年、未だ復興途上にありますけれども、市政は新ステージに向けて大きく動き始めました。</p> <p>復興の重荷であった除染の関係は、昨年中に面的除染、フォローアップ除染、それから道路側溝の堆積物撤去が完了。2021年度までには全ての除去土壌が中間貯蔵施設へと搬出される見込みとなりました。</p> <p>待機児童対策は緊急対策パッケージの成果もありまして半減。新しい夜間急病診療所、大原総合病院、福島赤十字病院の開院で救急医療が充実し、全地区で地域包括ケアの体制を整備いたしました。</p> <p>高速道路網の広がりを生かしまして、5件の企業誘致、立地に成功し、観光面では観光客が震災前の水準に戻る中、外国語表示などインバウンドの受け入れ態勢の整備を進め、花観光への取り組みも始めました。GAPの取得など、風評を克服し、農業の再生を図るさまざまな取り組みも進んできております。</p> <p>教育の面では、トイレやICTなどの学校環境の改善が進み、高等教育では福島大学食農学類が本年4月に開設、県立医科大学の新学部も着工いたしました。</p> <p>また、中核市福島市として、新たな広域連携の枠組み、福島、宮城、山形にまたがる福島圏域連携推進協議会を設立しました。そして年末にはこういった広域の拠点である福島中心部に関して、</p>

## 【福島市】

風格ある県都を目指すまちづくり構想を発表し、広域の拠点となる中心市街地のまちづくりと、公共施設の戦略的再編整備の全体像をお示したところであります。

このように、市政の新しい芽は多くの分野で出てまいりました。平成の終わりに出たこの芽を新しい元号の世において、大きく育てていきたいと思えます。

とりわけ本年は、活性化と新しいまちづくりに弾みをつけていきたいと思えます。

本年は復興五輪前年で、本番を想定した1年前のテストマッチ、世界少年野球大会など、関連イベントが目白押しです。6月1日、2日には東北絆まつりが開催されます。そして本年、50周年を迎える福島わらじまつりもリニューアルし、その際に初めてご披露をいたします。風格ある県都を目指すまちづくり構想に関しましても、コンベンション施設等の具体的な検討も始まってまいります。できれば今月中にも、市議会に緊急会議の開催をお願いしまして、所要の補正予算措置を講じて、年度内にこちらの施設の検討を開始したいと考えております。また、今後福島市の新ステージづくりを市民の皆さんと共有し、対外的に情報発信していくため、新たなキャッチフレーズとロゴを、市民参加で作りたいと思えます。東京2020で世界に注目される、そして世界に発信する機会に、わかりやすい、そしてインパクトのあるものを作って、シティプロモーションをかけてまいりたいと思えます。

また平成の世は、東日本大震災をはじめとする多くの災害やテロが多発したり、地域コミュニティが希薄化するなかで日常生活の不安が高まったりと、安全安心の重要性を再認識させられた時代でした。時代の節目にあたって、改めて災害対策の強化を図るとともに、子育てや介護、障がい者対策など、健康で安全安心に暮らせる社会づくりに努めてまいりたいと思えます。

市政全般にわたり、新ステージへの取り組みを加速してまいりますが、中核市も2年目、組織体制も文化スポーツ部門を市長部局に移管するなど新体制になります。中核市移行以後は円滑に移譲事務を実施することを重視してまいりましたけれども、今後は中核市らしい創意工夫で、福島市ならではの政策が実施できるよう努力してまいりたいと思えます。

いずれにいたしましても、来年には大震災から10年目に入ります。大震災の課題を克服し、人口減少社会に立ち向かって、元気あふれる新ステージを築いていかなければなりません。本年は、新ステージへの離陸からしっかりと上昇軌道に乗せていきたいと思えます。引き続き開かれた市政、スピードと実行をモットーに全力で市政を推進いたします。市役所一丸、そしてオール福島力を結集して取り組んでまいりますので、市民の皆さまのご協

力、主体的な取り組みをお願い申し上げます。

### 発表事項

(1) 東京2020大会をみんなで盛り上げよう！

～「2020ふくしま市民応援団」登録制度～

続いて発表事項に入ります。1点目は、東京2020大会をみんなで盛り上げよう！「2020ふくしま市民応援団」登録制度についてです。

オリンピックに関して言えば大会ボランティア、それから今福島県で募集している都市ボランティアという市民参加の仕組みがありますが、都市ボランティアにしても大体1日5時間以上3日というのが1つの要件となっております、そこまではできないけれども、少しでも何かしらオリンピックがらみで貢献したいという声を多数聞いております。こういった方々にも、ぜひオリンピックに何らかのかたちで参加していただいて、そして皆で関わって盛り上げていく、そんなことを制度、仕組みとして作れないかと考えまして、そして今回この制度を設けるものであります。

これは東京2020大会を応援したい方すべてが対象で、応援の方法もそれぞれの方が持っている自分のやりたいこと、あるいは特技を生かしてやってもらえばいいというかたちで非常に自由でフレキシブルなものにしております。活動の内容は市の公式SNSなどで紹介し、登録者には随時オリパラ情報を提供してまいります。それぞれの立場や関わり方で、ぜひ東京2020大会を盛り上げていただきたいと思っております。

対象は今申し上げたように、何らかの参加したい、あるいは手助けしたいという気持ちのある方であれば個人、団体を問いません。誰でも結構です。応援方法も、市の方から例えばこういうのでぜひ助けていただけませんかといった場合に募集していただくのもあるし、あるいは自分たちで沿道をきれいにし、そのうえでオリンピックに来ていただく方に気持ちよく福島市で過ごしていただくとうと、こういう応援の仕方でも結構です。あるいは情報を発信するでもいい。応援方法は資料の2にある通りでありまして、様々なやり方でぜひ登録をしていただいて、そのうえで自分たちも参加しているんだという気持ちでそれぞれの行動をとっていただければと思っております。

ちなみに募集説明会を資料の3に書いてあります通り、今月の27日午前10時から10時半まで、セレクトン福島で実施する予定でございます。募集開始は1月27日からということがあります。募集方法についてはウェブ、ファクス、郵送を予定しております。こういったチラシも作らせていただきました。

## 【福島市】

	<p>今新年会シーズンでもありますので、こういう説明会に限らず新年会などでどんどんと、特に私はあちこち行きますので、市民の皆さまにお話しをして、そして登録していただくかなと思っております。</p> <p><b>(2)「読売巨人軍」・「阪神タイガース」が古関裕而氏の殿堂入りに賛同</b></p> <p>それから2点目になります。古関裕而さんの野球殿堂入りの関係ではありますが、読売巨人軍と阪神タイガース、このプロ野球の老舗の人気球団2つから殿堂入りに関して賛同いただきましたというご報告でございます。</p> <p>ご承知のように古関さんは、阪神タイガースの「六甲おろし」といわれる応援歌を作っておりますし、巨人軍の「闘魂こめて」は、現在も水道橋駅で流れておりますし、巨人のホームゲームの5回だったかに必ずそれが流されるんですね。こういった関わりを古関裕而さんが持っております、こちらの方にも野球殿堂入りの趣旨にご賛同をお願いしたところ、気持ちよく賛同いただきましたのでご報告をさせていただくというものであります。</p> <p>ちなみにだいぶ前に賛同いただいていたのですが、なかなか公表する機会がなくて今回こういうかたちで公表させていただきます。ちなみに古関さんの野球殿堂入りの選考結果が発表になるのが1月15日ということでもありますので、ぜひここでもう1回、こういうかたちで多くの賛同があることが伝わって、良い結果につながればいいなと思っております。</p> <p>なお、賛同団体がどの程度になったかということ、これは資料の(4)の①にありますように、合計すると13団体になりました。この読売巨人軍、阪神タイガースを含めて13団体ということでございます。また、資料の②が間違っているのが訂正をいただきたいのですが、福島市ほか20団体だと21になりますけど、これは福島市など20団体、全部で20団体となりますので、この点すみませんがご訂正をお願い申し上げたいと思います。私からは以上です。</p>
広報課長	<p><b>質疑応答</b></p> <p>それではただいまの発表事項について質疑応答に移ります。</p>
市長	<p>発表と抱負ですね。</p>
広報課長	<p>合わせまして質疑応答を承ります。ご質問がございましたら挙手、指名ののち社名とお名前をおっしゃっていただき、ご発言</p>

## 【福島市】

	をお願いいたします。それではお願いいたします。
河北新報	河北新報の関川と申します。今年もよろしくお願いいたします。まず抱負の中でおっしゃっていたキャッチフレーズとロゴというのは、これから新しいものを作っていきたいということですが、すみません聞き逃してしまって、何に関するキャッチフレーズとロゴでしょうか。
市長	福島市に関してです。要するにいま「花もみもある福島市」というのを使っているのですが、新しいものを作って我々もこれから世界に向けて発信するからには、日本語だけじゃなくて、外国語に翻訳されることも意識しながら作っていかなくてはならないと思っています。今福島市も新しい取り組みを始めていますし、変わろうとしています。そういった変わることを見据えた新しいロゴとキャッチフレーズを作りたいと思っています。
河北新報	「花もみもある」というのは、個人的には良いキャッチフレーズなのではないかと思っています、それが変わってしまうのはもったいないと思うのがひとつと、あとロゴというのは、例えばいま福島市でいうとももりんがいて私の周辺にももりんが好きという方がいっぱいいますが、そういうのが変わってしまうということなのでしょうか。
市長	ももりんはゆるキャラですから、それは特に変わりません。福島市を表すロゴというので、キャッチフレーズとともに考えたいと思っています。 それから「花もみもある」というのはそれなりのいろんな受け止め方がありますし、全くそれを廃止してしまうというわけでもありませんが、いろいろ聞いてみるとインパクトが弱いという声もかなり聞きますので、私としてはこれを機に市民参加で多くの人の知恵を集めて作っていければと思っています。
河北新報	ありがとうございます。続いて申し訳ありません、市民応援団の登録制度の件ですが、これは市長がおっしゃったように大会ボランティアや都市ボランティアほどは関われないけども、何か気持ちがある方を対象としているのでしょうか。
市長	はい、どんな方でも結構です。少しでもやれるということ、ですね。当然都市ボランティアであれば、こちらの資料の裏にもありますけど、どんな活動内容かある程度書いてあるわけですね。

## 【福島市】

	<p>そうじゃなくても、例えば茶道の方がせっかく来た時にはお茶の振るまいをやりたいとか、こういうのでも構わないですし、あるいは何かに花を生けておもてなしと、そこは大会運営側が企画したもの以外でやっていただいても私としては充分ありがたいので、そういった人たちの心を受け止める仕組みをぜひ作りたいと思っています。</p>
河北新報	<p>そうするとそういう気持ち、例えば沿道の掃除だとか、お花を生けるおもてなしとかをやらうとされている方が、あえて市民応援団に登録するというのには何かメリットはあるのでしょうか。</p>
市長	<p>本人としてやはり、参画したという気持ちがよく出てくるのではないのでしょうか。今もよく言われるんです、「私こういうのやりたいんだけど何かで応援できないかな」と。ですから、ぜひ登録してくださいと。そのときに例えば、一番わかりやすいのは我々が何かのイベントをやるときに、これからまたオリンピックだけじゃなくてオリンピック関連のイベントはいくらでもありますから、そのときにサポートいただけませんかとか、あるいは何かサポートしていただけませんかと呼びかけたときに、皆さん来ていただいて何かしていただけるというふうにもなりますから、いろんなこの広がりが出てくるかなと思っています。</p>
河北新報	<p>その登録者には、そういうイベント関係の参加案内みたいなものも行くということですか。</p>
市長	<p>そうですね、はい。ただ、これは都市ボランティアになれない人にもそういうできるだけ参加の機会をとというつもりでやっていますが、じゃあ都市ボランティアになった人はできないのかという決めてそうではありません。都市ボランティアは都市ボランティアでやっていただくわけですが、それ以外にもやりたいという人が一応こういうかたちで登録いただいても結構です。一方これをやっているうちに、期間がありますけども、やっぱり都市ボランティアもやってみようかなということで、都市ボランティアに後でエントリーしていただくというのも可能かなとは思っています。</p>
河北新報	<p>この登録者数というのが、今後登録が始まると出てくると思いますけども、大会が終わったあとの「福島市としての盛り上げはこうでした」みたいなかたちというのは、組織委員会か何かに報告する数字として提示するのでしょうか。</p>

## 【福島市】

市長	それはまだ分かりません。そもそも報告するものなのかどうかです。ただ我々はそういうかたちで、自分たちできっちり認識してやっていきたいと思えますし、それからこれ自体は、今回こういう仕組みを作ることで、今後のいろいろな正に財産になるのではないかと思います。特にこれからインバウンドなどを考えた場合、いかにおもてなしの体制を作っていくかというのは非常に大切なので、今回こういう仕組みが、また何らかのかたちで将来に向かって生きていけば、福島市として非常に大きな財産になるかと思っています。
河北新報	ありがとうございます。すみません最後に、古関裕而さんの殿堂入りの件で一点だけ、15日が発表日ですけども、この15日当日はこの実現する会として待ち構えて何かやるとかそういうことはあるのでしょうか。
市長	いやまあ、ちょっとね。かなりこれに関する情報のガードは厳しいので、我々としては今何とも仕方ないですね。ただ新年早々でかなりいろんな業務も混んでいるので、これからおいおい考えます。
河北新報	当日市長は市内にいらっしゃるのでしょうか。
市長	当日は、15日は確かいると思います。はい。
河北新報	市内で報告を待つということですか。
市長	基本的には我々もそうですけど、古関先生のご家族というかご遺族の方にまずはいくのかなと思っています。どういう人に連絡したらいいかというのは、エントリーの時にはお話しをしておりますので、我々よりはまずそちらかと思っています。
福島民報	福島民報の横山です。聞き漏らしたのですが、抱負の中でおっしゃっていた、予算を取るのは何の予算になりますか。
市長	年末に、風格ある県都を目指すまちづくり構想を発表させていただいたわけですが、今後コンベンション施設や図書館、西庁舎などの施設に関して具体的な検討に入らなければなりません。それらの検討に際して、通常だと当初予算に乗せた政策展開の中でご議論いただくこととなりますが、今後の展開を考えると来年度予算にいつまでに結論を出せば次の予算に入るのかとかを考えると、この時期に予算を組んで検討の経費を議会に認めていただ

【福島市】

	<p>いた上でやれば、かなり時間的にも、時間を取りながら検討を進められると思いますので、その検討のための予算を議会の緊急会議をお願いして、提案したいということです。</p>
福島民報	<p>スケジュール感としては新年度に具体的な検討内容を固めるのでしょうか。</p>
市長	<p>新年度の次の展開を考えると、通常は次のステップに移るには次の当初予算に反映できるかたちでないと、中々次の予算もどう組んでよいのか分からないですよ。基本構想や基本計画的なものを作ったうえで設計に入っていきますから、できるだけ具体的な整備の中身に入る前にどのような施設を施工していくかということに早めに検討・着手していきたいと思います。</p>
福島民報	<p>スケジュール感でいうと、一般的には基本構想から基本計画、となりますが、それを新年度内に行いたいということでしょうか。</p>
市長	<p>そうですね。基本構想・基本計画を別に作るかどうかというのはいろいろあって、私としてはそんなに分けてやる必要はないとは思っています。明確に2つ作るというわけでもないですが、設計に至るまでの仕込みをやるための予算を補正予算で提案したいと思っています。</p>
福島民報	<p>もう一点ですが、ロゴとキャッチフレーズというのは完成というか発表はいつ頃になるのでしょうか。</p>
市長	<p>1月中に募集をやりたいと思っています。具体的な発表はしておりませんが、今月中にも段取りの発表をさせていただきます。今考えているのは、ロゴとキャッチフレーズは別にしようと思っています。最初にキャッチフレーズを作った上でそれを生かしたロゴを作っていこうと。できれば年度内にキャッチフレーズを選考する段取りをしたいと考えています。</p>
福島民報	<p>そうするとキャッチフレーズは年度内で、ロゴは新年度に入ってからということですか。</p>
市長	<p>そうですね。</p>
福島民報	<p>イメージ的には後ろのボードのような感じなのでしょうか。</p>
市長	<p>そうですね。イメージが同じでは決してありませんが。</p>



## 【福島市】

<p>福島放送</p>	<p>福島放送の佐々木です。今年もよろしく申し上げます。東京オリンピックの「2020ふくしま市民応援団」関連ですが、募集開始が1月27日からということで、イベントスケジュールなど関係してくると思うのですが、活動開始はいつ頃になりますでしょうか。</p>
<p>市長</p>	<p>きちっとした仕組みではないので、活動自体はその日からやってもらって構いません。情報発信などありますので、やれる範囲でやっていただければ。市からの呼びかけで応えられるものがあれば、我々が呼びかけたときにやっていただければいいかと思えます。これ27日からじゃないとできない？むしろもういつでもオッケーしてもいい気がしますけども。</p>
<p>東京オリンピック・パラリンピック競技大会福島市推進室</p>	<p>詳細を決め次第、準備を整えれば。</p>
<p>市長</p>	<p>とりあえず今は27日からとしておいてください。</p>
<p>広報課長</p>	<p>その他ありますでしょうか。特に無いようですので、発表事項以外でご質問のある方はお願いします。</p>
<p>時事通信</p>	<p>時事通信の清水です。今年もよろしく申し上げます。中枢中核都市について2点伺いたいのですが、昨年12月に東京一極集中の是正に向けて、全国から82の市が中枢中核都市として選ばれ福島市も選ばれましたけど、まずこれについてどういう受け止めなのかと、今後希望する場合は国に計画を提出して認定してもらい流れになるそうですが、市として今後どのような対応をしていくかをお聞かせください。</p>
<p>市長</p>	<p>東京一極集中是正の新たな取り組みとして中枢中核都市という話が出てきて、それに本市が選定されたのは私としては大変嬉しく思っております。内容はまだ中身が全然分かっていないので、内容を精査し前向きにエントリーしていきたいと思えます。一方で我々地方も何でもかんでも国の言いなりになっているわけではないので、魅力のあるものであればしっかりと活用し、計画策定をして国に承認あるいは認定をお願いすることになるかと思えます。あまり魅力あるものではないなと思えば、それはまた地</p>

## 【福島市】

	<p>方分権の趣旨からしても我々が独自にやっていくというのもひとつの観点かなと思っています。ただ今回の趣旨が、人口が東京にどんどん集中し過ぎていて、私も同じ問題認識なのですが、地方もまんべんなく人口流出防止や増加ということをやってもなかなか難しいのではないかというのが中枢中核都市の発想の原点にあると思います。その点では我々福島市のような、地方のダムになるような都市がしっかり取り組まなければなりませんし、そのための政策的支援をやってくださるのでしょうから、それはそれで大変ありがたいし、とりわけ今中枢中心部のまちづくりを進めていく上でああいう都市部との違いだと街のにぎわいや都市機能なんかが一番大きな違いになりますので、それを高度化する取り組みに国がこれまで以上に支援してくれることを私は大いに期待していますし、しっかり使わせていただければと思っています。</p>
時事通信	<p>分かりました。市がダムになることも期待できるということですが、周辺自治体からは中枢中核都市に人口が集まってしまふことに懸念を感じてしまう人もいますと思いますが、それについてはどのようにお考えですか。</p>
市長	<p>それはやり方次第だと思います。現になぜ今私が風格ある県都を目指すまちづくり構想というものを出したかということ、周辺を含めたダムの機能があまり担えていないという認識があります。福島市だけではなくて、福島広域圏の皆様が地域に定住していくからには、日常の近くのスーパーへの買い物に加えて、ちょっとは非日常的な街歩きや少し高級なブランド物を買うといった場所が無いと、地方の都市で生活していく楽しみが弱くなってくると思います。そのため今やっている風格ある県都を目指すまちづくり構想というのは福島市だけではなくて、広域圏全体を活性化させようという狙いでやっていますので、私自身は色々言われる方も全国的にいらっしゃるのかもしれませんが、少なくとも広域圏の皆様はむしろ、福島市がしっかり中心地としての役割をやってくれという声のほうが強いと思います。</p>
時事通信	<p>分かりました。中枢中核都市の話とは別に、政府の地方制度調査会で圏域を行政単位とするという議論が進んでいますけども、これについて一部の自治体から警戒するような声が出ていますが、市長は以前福島圏域の連携推進協議会設立総会の場では、人口減少が進んでいく中で単独の自治体だけでできるサービスは少なくなっていると話しされていましたけども、地方制度調査会の圏域を行政単位とする圏域の議論に対する市長のお考えをお聞</p>

【福島市】

<p>市長</p>	<p>かせください。</p> <p>私も地方制度調査会の議論はよく分かりません。ただ私は広域でやるもの自体はこれからもどんどん進めていくべきだと思いますが、あまり政府がガチガチに固めても仕方ないのかなと思います。現に我々の広域圏自体もある意味ではゆるい結び付きにしています。例えば福島から南の旧安達郡の地域、とりわけ本宮市や大玉村に関しては既に郡山の連携中枢都市圏に入っていますし、我々とダブルで入っている。それは生活の実態がやっぱり、色んな、両面があるからなんですよ。だからあまりガチガチの仕組みを作るとかえってやりづらいのかなという気がしないでもありません。なのでどういうものを作るかによると思います。一概に賛成・反対というわけではないということです。</p>
<p>河北新報</p>	<p>河北新報の関川です。関連でお伺いしたいのですが、ダム機能という点でいうと何が人口を食い止めるかという、一にも二にも職場であって、次が学校なんかが挙がると思います。そういったものを集約するというか中枢都市としての機能を維持するため抱えていかなければいけないと思いますが、先ほど市長がおっしゃった制度に魅力があればのっても良いが魅力がなければ無理やり乗る必要もないというのは正しくその通りだと思います。乗っても良いと思える魅力を感じるとすれば、どういった制度、あるいは権限・予算など色々あると思いますがどのようなものかとお考えですか。</p>
<p>市長</p>	<p>政府もこれだけ中枢中核都市の都市機能を高めると言っているわけですから、私としてはぜひ中心部に対するまちづくりの支援や補助を今までより充実していただければ大変ありがたいです。それ以外でも、福島市のやることは福島市のためだけのものではなくて周辺のためでもあるわけです。そういったものに関してはスプillover効果というか、こぼれ出し効果を鑑みて何かしらそれに関しての財政処置をしていただけたら、あるいは一緒にやる、広域でも構いませんけど、そういったものに関して何かしらものがないと。いつも国に対して計画などを作らされて結局何の役にも立たないというのでは、我々の貴重な人員と時間の無駄ですよ。</p>
<p>NHK</p>	<p>NHKの佐藤です。今年もよろしくお願ひします。先月の認可外の保育施設でのお子さんの死亡を受けて昨日会議が開かれたと思うのですが、今後市の動きとして第三者委員会設置や15日の保育園再開に向けて改めて動き等を伺えればと思います。</p>

## 【福島市】

<p>市長</p>	<p>市としては年末から、今南福島保育園に預けられているお子さんたちのことを考えれば、そう簡単に他の保育園に移しても、何とか保育士さんになつくかどうかという問題もあるので、今の所で続けて保育してもらおうほうが良いのではないかとということで、マニュアルの策定や南福島保育園の職員の皆さんを公立の保育園で研修していただくなどの取り組みを進めてきました。結果、まだすぐには受け入れられる体制ではないということで15日に延期されましたけども、まず一つは南福島保育園の保育士さんたちの心のダメージを受けておられるので、職員のメンタルケアを9日・10日に行いたいと思っています。それから検証委員会については死因が明らかになっていないという面もありますので、警察なども含めた検証の状況も踏まえながら市としての検証委員会をできれば年度内に立ち上げたいと思っています。認可外の保育施設への立ち入り調査ですが、来週から全認可外保育施設に対して立ち入り調査を実施したいと思っています。今回のケースを見て感じたのは、認可外の保育士さんや職員に対する研修も大事だと思いますし、施設長自体に色々と研修をしていただくことも重要だと思っています。認可外の保育施設の施設長と職員の研修を福島市独自で実施したいと考えています。</p>
<p>福島民報</p>	<p>発表事項についての質問に戻って申し訳ないのですが、球団の名称は「巨人」や「阪神」と言うと思うのですが、「読売巨人軍」「阪神タイガース」というような表記にしてほしいと依頼があったのでしょうか。</p>
<p>市長</p>	<p>これは正式名称だからではないでしょうか。例えば中日ドラゴンズなんかも企業の名前が入っているわけですから。</p>
<p>広報課長</p>	<p><b>閉会</b> それでは以上で年頭記者会見を終了します。皆様大変お疲れさまでした。</p>